

平成27年9月6日に埼玉県川口市からさいたま市にかけて発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

9月6日20時20分頃、川口市芝中田(しばなかだ)からさいたま市緑区大字大間木(おあざおおまぎ)で突風が発生し、住家の屋根瓦のめくれなどの被害が発生しました。

このため9月7日、熊谷地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性のあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していたが、断続的であった。
- ・激しい風はごく短時間であったという証言があった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害や痕跡の分布からは竜巻と推定できる根拠が得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・住家の屋根瓦のめくれがあった。
- ・住家のトタン屋根のめくれがあった。

※ この資料は、速報としてまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。